

施策 No.40 循環型社会の推進								基本計画掲載頁	114~115		
総合評価	B：順調に進捗した	今後の方向性	I：現状のまま継続	施策展開の評価数		A	1	B	5	C	1
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	8	C	0
成果	市ホームページにより資源ごみの適正な排出の啓発及び資源回収の実施や民間企業等との協力によるフードドライブの実施によりごみ減量化対策と資源循環の促進に取り組むことができた。また、志木地区衛生組合や構成市との連携を図り、ごみ処理体制の充実に取り組むことができた。			成果・課題を踏まえた今後の対応方針	施策展開については、おおむね現状どおり進めていく。 ごみの排出量については、新型コロナウイルス感染拡大防止以降市民一人一人のごみに対する意識の変化により減少したと推測される。 第15回新座市民意識調査では、現状のごみ収集方法に85%の方が満足している結果であったが、作業員や収集車両不足への対応が必要となる。労務費の適切な転嫁を実施するため、作業員の人員費、車両維持管理費、燃料費等を適切に反映しながら、今後も志木地区衛生組合や構成市と連携することで安定的な収集運搬体制・処理体制を確立する。						
課題	施策展開は現状のまま継続するが、ペットボトルの水平リサイクルやふれあい収集の要件拡大等新たな課題や、集団資源回収事業の将来的な見直しについて検討を進めていく。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) ごみ減量化対策と資源循環の促進	評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1 ごみの発生抑制や再使用、再資源化を促進するため、啓発を行うとともに、家庭内の余剰食品の活用を図ります。	A	・通年でファミマフードドライブの実施や十文字学園女子大学の文化祭でのフードドライブの実施により集まった食品について、市内のNPO法人に引き渡し、こども食堂等において活用を行い、家庭内の余剰食品の活用を図った。令和6年度において、ファミマフードドライブ実施店舗を増やし、市民への啓発をより一層行えた。 ・市内の保育園(6園)で、幼児向けごみ講座を行い、主に4・5歳児(年長児)を対象にごみの発生抑制、再資源化に対しての啓発を図った。	環境課
2 事業者に対し、ごみの適正処理を促すとともに、リサイクル資源の適正な排出など、ごみの再資源化・減量化について、啓発を行います。	B	・事業者に対して、市ホームページにより資源ごみの適正な排出を促した。	環境課
3 町内会を始めとする市民団体によるごみの再資源化に向けた取組に対し支援するとともに、資源ごみの不正な持ち去りへの対策を進めます。	B	・集団資源回収事業を通して、町内会や登録団体（137団体）の資源回収を実施した。 回収量：4,874t 奨励金交付額：14,020,554円	環境課
4 技術開発や社会情勢の変化などに応じ、新たな再資源化の方法を検討します。	B	・住民から回収した使用済みペットボトルをリサイクルし、新しいペットボトルとして製品に使用・販売を行う「B to B（ボトルtoボトル）」について、飲料メーカーとの取組を進めた。	環境課
(2) ごみ処理体制の充実	評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
5 確実に効率的なごみの収集・運搬体制を確保するとともに、災害時の対応やごみ出しが困難な世帯への支援策を推進します。	B	・日常生活によって発生する家庭ごみを自らごみ集積所へ持ち出すことが困難な世帯を対象にご自宅まで家庭ごみの収集に行くふれあい収集を令和5年4月から試験的に開始した。ケアマネジャーを通して申請受付することで、要件判断に支障なく実施できている。要件拡大について福祉部局と調整の上、検討していく必要がある。 ・集団資源回収については、一部事業者の高齢化等の影響もあり、将来的な事業の見直しについて検討が必要と考える。 ・災害廃棄物処理計画について、策定を行った。	環境課
6 安定的な収集運搬・処理体制の確立のため、志木地区衛生組合及び組合構成市と連携を図りながら、家庭ごみの有料化について検討を進めます。	C	・第15回新座市民意識調査では、現状のごみ収集方法に85%の方が満足している結果であった。 ・志木地区衛生組合及び構成市との検討の結果、有料化については見送りとなったが、本市の廃棄物の安定的な収集運搬を継続するため、独自の検討は必要である。	環境課
7 環境負荷の低減や効率的な中間処理・再資源化のため、志木地区衛生組合と連携して、ごみの分別収集体制などについて検討を進めます。	B	・環境負荷の低減や効率的な中間処理・再資源化のため、今後も志木地区衛生組合や構成市との連携を図っていく。	環境課

施策のKPI（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
ごみの総排出量	46,638 t	44,431 t	43,531 t				43,629 t	A	環境課